

みたけ夢だより

1月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

令和 初のお正月 ～ 今年もよろしく申し上げます ～

校長 羽田 敏隆

新年あけましておめでとうございます

旧年中は、いろいろな場面で学校へのご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。保護者や地域の皆様にはたくさんのお力添えをいただき、子どもたちは大きく成長することができたと感じています。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

12月14日制作

門松 by おやしひの会

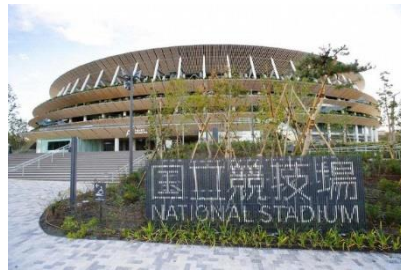


オリンピック・パラリンピックがやってくる

いよいよ今年にはオリンピックイヤー。新国立競技場も完成し準備が着々と進められています。スポーツを通じて人と人がつながり、国境や人種、ジェンダー、障がいの有無等を超えてお互いの理解が深まり、心が豊かになり…。目標に向かって頑張る姿・応援し支える一体感・たくさん感動。オリンピック・パラリンピックを間近に感じることができること、今からワクワクしますね。



「最新のテクノロジー」と「日本の木材・和・伝統」どちらも大切



『伝統』・『継続』も『改革』・『開拓』も どちらも大切にしていきたい…

新年恒例の「箱根駅伝」。母校のたすきをつなぐために頑張る姿は感動的ですが、学校も駅伝と同じように「伝統」「誇り」や、学校を支え創ってきた地域や保護者の方々、卒業生・教職員の「想い」「願い」を駅伝のたすきのようにつないでいるのだと思います。子どもたちも、伝統を大切につないでいます。例えば、ソーラン節にかける熱意は今までの伝統に引けを取らない素晴らしいものでした。そして5年生に確実にその想いは引き継がれています(先日6年生から5年生への「ソーラン伝達会」がありました)。



みた小伝統 汗と涙のソーラン節

伝統の継続と同じように、自由な発想や広い視野、新たなことにチャレンジし、未来を切り拓く姿勢、最初の一步を踏み出す勇気も大切にしたいと思います。「袋から取り出した麺を器に入れる」という固定観念をうち破って、ヒット商品になったカップラーメンのような逆転の発想。温暖化の問題提起をしているスウェーデンの16歳の少女グレタ・トゥーンベリさん。ひとりの最初の一步が大きなあゆみとなり世界を動かそうとしています。

2020年のスタートにあたり、今まで築き上げてきた伝統と、改革・チャレンジ精神とともに大切にしていって、新たな時代に生きていく子どもたちを育て伸ばしていくみたけ台小学校でありたいと思います。今年も教職員一同、頑張っていきたいと思います。地域・保護者の皆様、より一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。